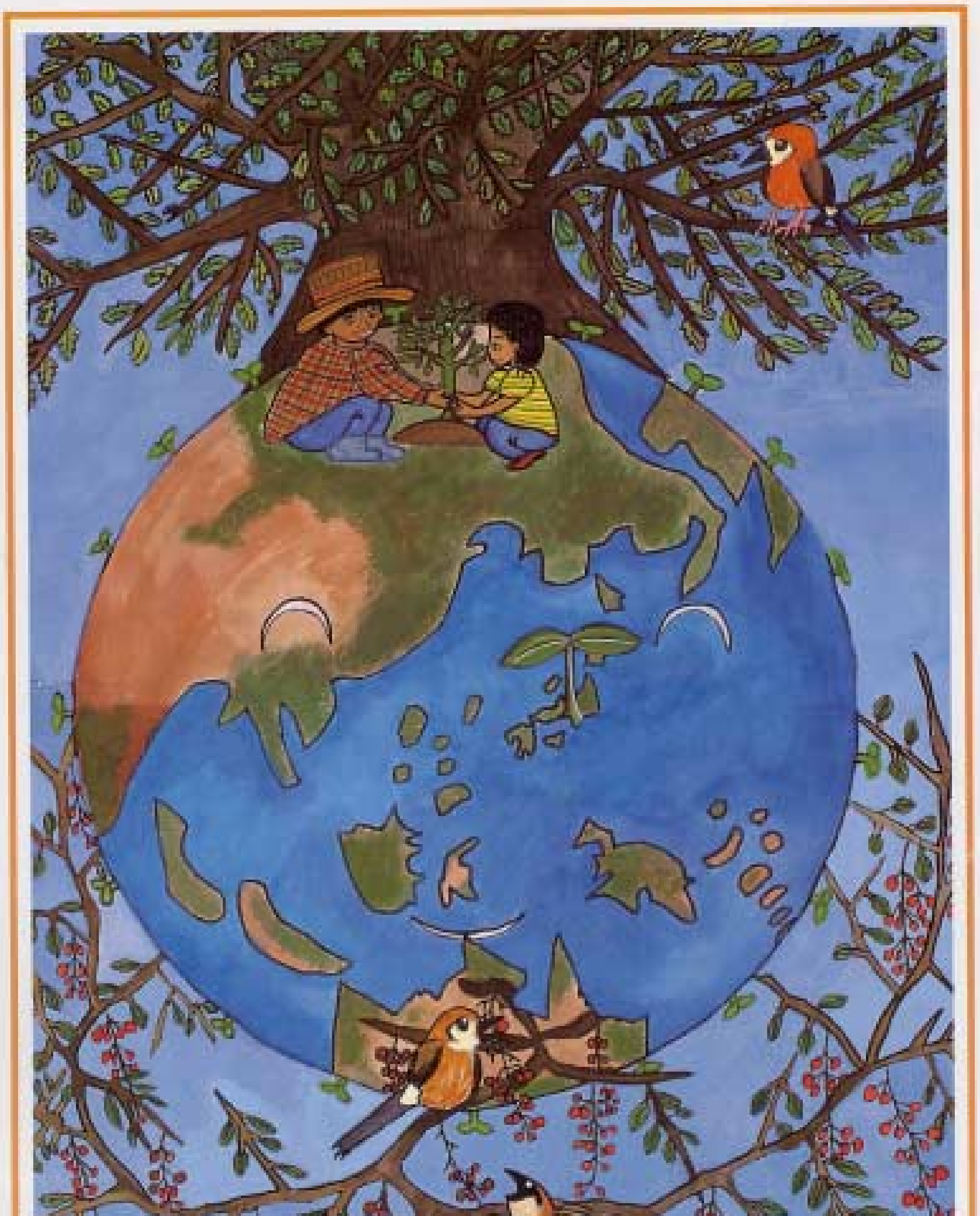
グリーン えっせんす

第19号
2001.10



社団法人 千葉県緑化推進委員会

ホームページを開設しました。

当委員会は、みどりに関する身近な情報をこれまで緑化広報誌「グリーンえっせんす」で年２回（４月と10月）お伝えしてきましたが、今年７月、インターネットホームページも開設しました。

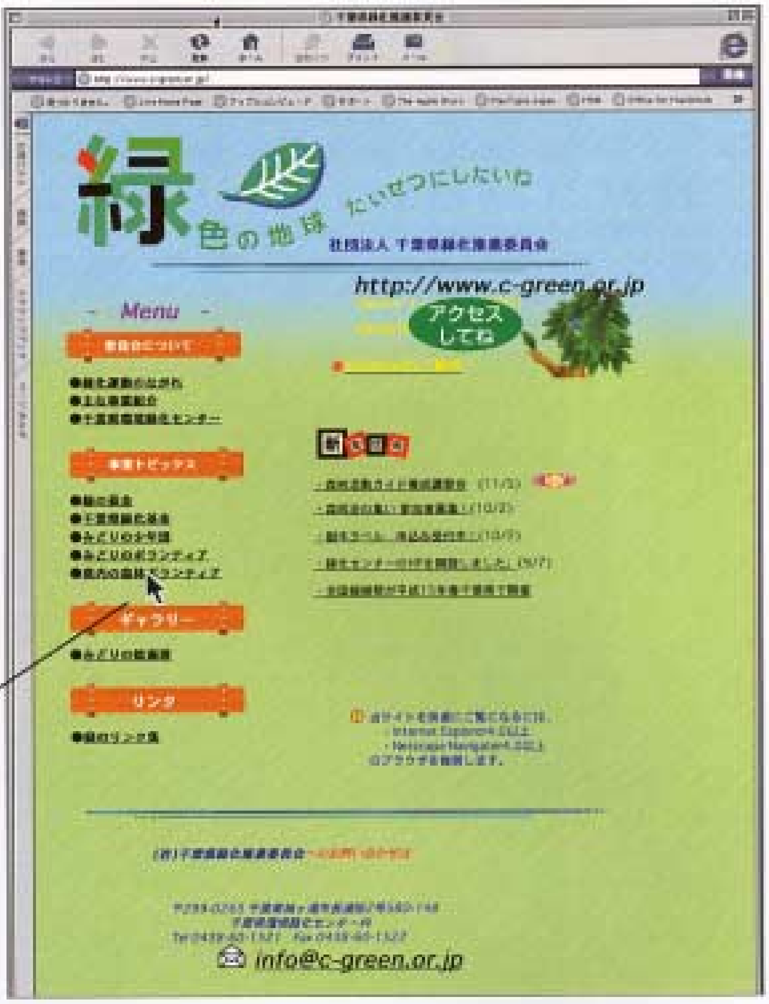
ホームページでは当委員会の事業紹介や関係する各種情報などを、よりタイムリーに提供していく予定です。

まだまだ生まれたてですのでこれからどのように成長していくかは未知数ですが、その栄養源となり方向性を決めるのは皆様からのアクセスであることは間違いありません。

どうぞ率直なご意見などお寄せいただきたく、「グリーンえっせんす」共々よろしくお願いいたします。

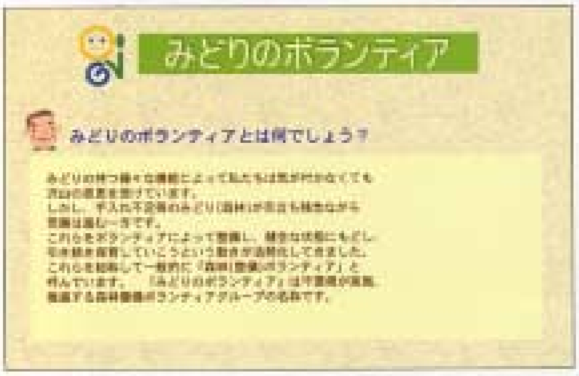
まずはアドレス。
http://www.c-green.or.jp/

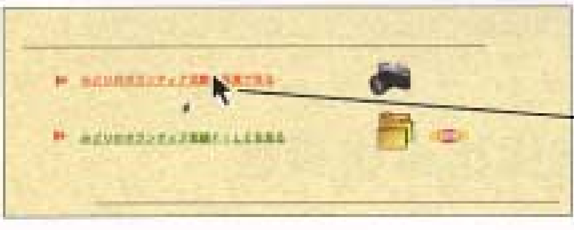
アクセスするとこんな画面が→



画面の中で見たいところにカーソルを持っていきクリック

たとえば「事業トピックス」の「みどりのボランティア」は



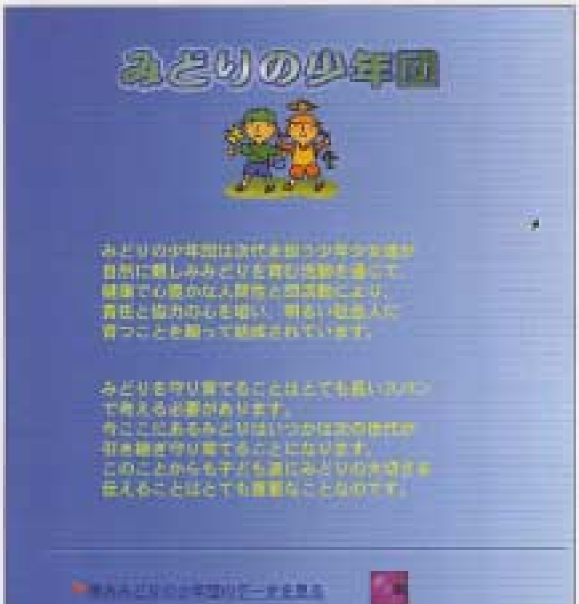


さらに「写真で見る」をクリックしてみましょう。実際にどのような活動なのか、目で見ることができます。

「ギャラリー」の「みどりの絵画展」をクリックすると子供たちの力作（国土緑化運動ポスター原画コンクールの優秀作品）が見られます。

まもなく、本年度のコンクール審査結果も追加する予定です。お楽しみに！

「事業トピックス」の「みどりの少年団」。活動内容をデータと写真で見ることができます。



また、ご意見・ご質問などは電子メール
info@c-green.or.jp
へお願いいたします。

当委員会が管理、運営している<千葉県環境緑化センター>のホームページも別途、開設しています。

当委員会のホームページともリンクしていますので、是非、ご覧になってみてください。

〈アドレス〉
http://w1.alpha-web.ne.jp/~c-green/

千葉の散歩道

粟又の滝遊歩道
（大多喜町）

紅葉狩りを楽しみながら渓谷を歩こう

秋といえば一度はしてみたいのが紅葉狩りを楽しみながらの散策。そして千葉県の紅葉の名所といえば、もちろん養老渓谷。というわけで、今回は紅葉が美しい養老渓谷、とりわけ一番の人気スポット、粟又の滝付近を紹介します。

まず、粟又の滝を「渓谷と滝のみち」（一般道・1.1km）にある展望台から遠望します。紅葉の枝越しに見る粟又の滝はまさに絵に描いたよう。真紅のカエデの向うに白糸を束ねたように流れる滝が見え、来て良かったと実感するはず。続いて少し急な坂道を下り、滝まで行ってみましょう。遠くから見た美しさと違い、滝の流れる音やせせらぎが聞こえ、マイナスイオンもいっぱいという感じです。なにしろ粟又の滝は養老渓谷上流にある房総一の大滝。階段状に傾斜した岩盤の上を、川の水が優雅に約100mに渡って滑り落ちているのです。気の済むまで見とれてしまうのが、ここでは最高の心得です。

滝を見たら今度は紅葉に集中。粟又の滝から川沿いに整備された粟又の滝遊歩道（2.5km）をのんびりと歩いてみましょう。このあたりは紅葉スポットのまっただ中。身も心も紅葉色に染まりそうです。そこここに小さな滝を見つけたり、かわいい野草を発見したり、はたまた水の流れに身をまかせる紅葉を見つめたり…。晩秋の渓谷美を思いきり味わってみましょう。

やがて川を横断するポイントがあります。そこから200mくらい歩くと、もう一つの名瀑、小沢又の滝があります。この滝の周辺は崖を切り開いた見学コースになっていますので、見る角度によって、いろいろな表情の滝が楽しめます。

この滝を見たら川から少し離れてみましょう。小沢又の滝のポイントから道を登ると静かな田舎の風景が広がります。そんな懐かしい田園風景の中にあるのが水月寺。南房総では珍しい禅宗の古刹で、新緑の頃、境内がイワツツジでいっぱいになることからツツジのお寺としても有名です。この水月寺から「渓谷と滝のみち」に入り約0.8km歩くと、再び粟又の滝展望台に戻ることができます。

この滝めぐりのコースだけでなく、もっと養老川沿いに下ると、約140年前に作られた隧道・弘文洞跡や朱塗りの２連太鼓橋・観音橋、釣り橋・白鳥橋といった見所にも。さらには養老川沿いに歩く養老川自然歩道を使えば、河口部の市原市の養老橋まで歩くことができます。この養老川自然歩道は既設の市道などを利用して作ったもので、養老橋から源流の麻綿原高原までを結んだ総距離は約94kmにも。季節のたびに少しずつ歩き、踏破してみるのも一案です。

■交通　小湊鉄道養老渓谷駅からバスで約25分
■問い合わせ　大多喜町商工観光課（TEL.0470-82-2111）

ケナフよ、育て！

地球環境にやさしいといわれる植物「ケナフ」。最近、新聞などによく登場しますが、いったいどのような植物なのでしょうか。千葉市で、ケナフの普及・啓蒙活動を行っている「千葉ケナフの会」に聞いてみました。

●ケナフの花。まるで芙蓉の花のように艶やかで美しい花を咲かせる。この花を使って布を染めると、薄いグリーンや淡いピンク、黄色になる

「千葉ケナフの会」（会長・青山和彦）が発足したのは今から３年前のこと。減少する熱帯雨林を守るということで、すでに注目されていたケナフ作りを、一人で行うよりは力を合わせて行おうということでスタートしたのだそうです。発足当時のメンバーは30人。現在もほぼ同じメンバーで活動を続けているとのことですが、その楽しさはなんといっても土に触れたり自然に帰れたりすることだといいます。

ケナフの会の活動はまず春の種まきから始まります。その種まきに先駆け、４月、緑区土気町にある休耕田の土おこしや石拾いをトラクターで行います。５月下旬、種まきを実施。種まきには会員のほか、市内のガールスカウトやボーイスカウト、一般のボランティアなど約70人が参加。丘陵と水田に囲まれた約1,700平方メートルの広さの休耕田には、あっという間に幾筋ものうねが出来、ケナフが芽を出すのを待つことに。その後、数回の草取りを繰り返し、やがて９月、ケナフが花をつけます。今年は暑さが厳しく行うことができませんでしたが、例年は花の咲いた現地で「ケナフ祭り」を開催し、ケナフの試食会などのイベントを楽しむのだそうです。10月下旬には生長したケナフの刈り取り、11月から12月には収穫したケナフを使った紙すき体験を行います。今年も公民館や学校などのほか、千葉県環境財団主催の「エコメッセ」にも参加し、紙すきを行うとのことです。

「ケナフは、紙の材料としてばかりでなく、杉の廃材やプラスチックと組み合わせて車の内装材として利用されたり、茎はきのこ菌床になったり炭に利用されたりもします。花は染色に使われますし、葉はお茶にしたりてんぷらにして食べることもできます。本当に利用価値が高く、捨てるところがないのです。私たちの活動では現在はまだまだ製品化するという段階までは至っていませんが、ケナフを育てる作業や紙すきを通じてケナフという植物を知ってもらえればといいなと考えています」、と事務局の太田忍さんはおっしゃいます。

ところで、素朴な疑問その１。なぜ「ケナフは地球環境にやさしい」といわれるのでしょうか。答えはこうです。今、世界各地で木が切り倒され、森林が減少しています。そのためにいろいろな問題が生じています。地球の温暖化もその一つです。森林は地球にとってとても大切なものなのです。そこでケナフの登場です。特に無秩序な木の伐採が進む熱帯地域ではケナフがよく育つのです。そのため、そうした地域で、木から紙をつくるのではなくケナフを利用して紙を作ろうと提案されているのです。ケナフが地球にやさしいといわれるのはそうしたことからなのです。

素朴な疑問その２。ケナフはどうして紙になるの？その答えはこうです。ケナフはアオイ科の一年草で木ではありませんが、木と同じような繊維をたくさん含んでいます。そこでケナフからも紙が作られるのです。ケナフは秋になると３～４ｍに育ち、１haあたり８－25トンものケナフがとれます。茎全体が紙の材料として使われます。そのうち皮の部分（靭皮）は繊維が長く、芯（木質部）の部分は短いですが、別々でもまた混ぜても使うことができます。

花としても楽しめるケナフ。染色に使ってみるもよし。オリジナルの名刺を作るもよし。それぞれの生活の中で育てて使う…。地球や森林を守る活動は、そんな一人一人の日々の生活の中にこそあるのかもしれません。

取材協力／千葉ケナフの会（TEL.043-254-8148）
写真とケナフに関する解説／「ケナフの話」（非木材紙普及協会発行）より
参考図書／「広島発ケナフ事典」（創森社）、「世界のケナフ紀行」（創森社）
※6ページにて「ケナフの話」をプレゼントしています。

●種をまいて60日後のケナフと150日後のケナフ。育てるのがそれほど難しくなく、手間のかからない野菜を育てる気持ちで半年待っていれば、ジャンボ草ケナフが実感できる

●ケナフの全茎と靭皮。テレフォンカードで大きさを比較して

●ケナフ紙製品の一例

グリーンキャンパス Part.19

佐倉市立根郷小学校

緑自慢

大きな木のアーチが迎えてくれて、歴史を感じさせる佐倉市立根郷小学校。それもそのはず、130年もの歴史を持つ小学校なのです。卒業生の中には、マラソンのシドニーオリンピック金メダリスト高橋尚子選手を育てた小出監督もいらっしゃいます。そして現在は、鈴木昭雄校長先生の下、712名の児童たちが学んでいます。

この根郷小学校のユニークな活動の一つに、５年生が行う「森とともに」があります。「森の中で自由に遊ぶ活動を通じ、自然のすばらしさに気づく。森の中にある草花や樹木を使ったいろいろな活動を通し、自然に興味を持ち、そのよさを感じる。森を活用しやすくすること（ボランティア）を通して、自然環境を守ることの大切さに気づく」といったことを目的に、７年程前から総合的な学習（環境教育）としてスタートした活動です。そのきっかけは、近くに出版社が持つ森があり、それを教育の場として提供してもらえたことでした。

森での活動は年８回。1回につき半日程度森で過ごします。年度始め、まず先生は県印旛支庁農林振興課の方と植林や間伐といった森での作業などについて打ち合わせを行います。その一方、児童たちにはグループごとに森の中でどんなことをするかプランをたてるよう指導します。そのプランには時に先生もびっくり。秘密基地を作りたい、自転車を使ったターザンスロープを作りたい、家具を作りたい、森にある植物について調べたい、キノコを育ててみたい…。その一つ一つに先生は親身に対応します。ゴミとして捨てられていた自転車を切断し、子供たちのイメージする道具づくりを手伝う、安全でしっかりしたロープの結び方を教える、木のテーブルやイスはボンドやガムテープで貼り付けても、すぐに壊れてしまい危険であることに気づくのを見守る…。簡単に手を貸してあげないことも大切なのです。

「自由にさせてあげると、子供たちは自分でよく学びますよ。初めて森に入って戸惑っていたかと思うと、次にはどんな服装でどんなくつを履けばよいか学習します。森にはいろいろな葉っぱがあり、それらの葉っぱにはそれぞれ特徴があるとすぐに気づくのです」と話すのは、「森とともに」を指導されている平山和宏先生。その言葉の端々に子供たちを誇りに思っていることを感じさせます。

今年度もすでに４回の活動が終了。「最初はシーソーの予定だったけれど平均台に変更」、「夏の森って意外に涼しい！」、「森でしたかくれんぼが楽しかった」などなど、子供たちから生き生きとしたコメントが出ています。年末には発表会が行われ、１年生を招いて自分たちの作った基地や遊具で遊んでもらいます。そして２月にはそれらのものを片付けて森を元の姿に戻し、一年間の活動が終了です。

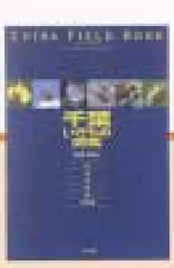
せっかく作ったものを壊して元に戻すのはちょっぴり残念ですが、その日には森林所有者が見え、森の中で５年生全員110名分の焼きいもを焼いて励ましてくれます。森での活動を終えるとまもなく６年生。一年間の森の中での作業や遊びを通じて、ぐっと成長したように見える５年生たち。森にも子供たちにも限りない可能性と不思議な力を感じたのでした。

オススメします。この本

ケナフの話

森はいま、地球が暖かくなっていく、紙は何からできているか、非木材紙には何があるか、ケナフが地球を救う、ケナフを使った紙のいろいろ、君にもできる普及活動、といった内容で、ケナフのＡtoＺがわかるようになっている。また文字が少なめで大きく、イラストをふんだんに使っているので、気軽に楽しみながら読むことができる。

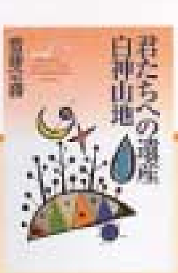
非木材紙普及協会発行　定価800円



千葉いきもの図鑑
前園　泰徳著

千葉県でみられる生物のうち、859種を生態写真で紹介。大きさ、見られる季節、見られる時間帯、危険な生物、園芸種、絶滅危惧種などをマークで表示し、情報が一目でわかるようになっている。これまでの図鑑とはちがい、俗説や古い思想にとらわれず、若い世代にも受け入れられやすい文章になっているのも魅力。

メイツ出版　定価1,500円（税別）



君たちへの遺産
白神山地
文・写真・イラスト　齋藤宗勝

ブナ林8,000年のヒミツにせまる科学者の探検記である。ここで得られる知識は、白神山地の未来だけでなく、日本の、世界の、森の未来にも大切な資料となる。そうした森の未来を皆さんの手で守っていただきたい、という著者の願いが切々と伝わってくる本。中学生からの自然と環境シリーズ４。

アリス館　1,400円（税別）

＊抽選で「ケナフの話」「千葉いきもの図鑑」をそれぞれ２名に、「君たちへの遺産　白神山地」を１名の方にプレゼントします。ハガキに希望する本、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、(社)千葉県緑化推進委員会「プレゼント」係へご応募ください。また、「グリーンえっせんす」をどこでご覧になったか、ご意見、ご要望もお書き添えください。あて先は８ページの右下参照。締め切りは１月15日（当日消印有効）。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

企業の中の緑

イオン成田ショッピングセンター（成田市）

今年8月21日、ジャスコ（株）はイオン（株）に社名を変更しました。イオンというのはラテン語で永遠という意味。その名前にふさわしく会社の理念は「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」こと。イオン（株）はこうした理念に基づき、いろいろな活動をしているのです。

それらの活動をささえる主なものが、「イオン１%クラブ」と「イオンふるさとの森づくり」です。イオン１%クラブは、税引き前利益の１%を「環境保全」「国際的な人材・文化交流」「地域の文化、社会の振興」に充当させるというものでイオン成田ショッピングセンター（以下SC）では今年も"こども参加型エコロジーミュージカル"「瓶ヶ森の河童（かめがもりのかっぱ）」を上演。オーディションで選ばれた県内の小学生50人が、晴れの舞台を目指し１ヶ月に渡り猛練習し、公演では驚くべきパワーを見せてくれました。会場となった成田国際文化会館が超満員になったことはいうまでもありません。

もう一つの柱、イオンふるさとの森づくりは、国内外のショッピングセンター敷地内に、その地域に自生する樹木の苗木を地元の人々に植樹してもらい、まずショッピングセンター自身から緑に包まれた、地球環境に溶け込んだ場所になり、さらに緑を育む心が日本全土へそして海外へ広がっていくことをめざすというものです。すでにスタートから10年を迎え、植樹は累計で298ヶ所、420万本になりました。イオン成田SCでもおととしのオープンにさきがけ、モチノキやアラカシなど73種類の樹木を近くに住む3,000人もの参加者を得て植樹しました。植樹した木の数はなんと４万6,000本。当時を振り返り堤店長さんは「緑化は地域とのコミュニケーションです。苗がその時植樹した子供たちの成長とともに大きくなって、その木を見るたびに当店とのつながりを感じてもらえれば幸せです。花や木を植えるということで自然に命の大切さを実感してもらえると思うのです。大変な作業にもかかわらず、皆様から、今日は楽しかった、ありがとう、と言われ感無量でした」とのこと。

このほかにも大切な活動として、各店ごとにテーマを設けて行われる地域貢献活動があります。イオン成田SCでは地域密着活動として、ポイ棄て吸殻を拾うクリーン活動や祇園祭・時代祭への参加、従業員のボランティアとしての施設訪問、花の苗や種を市内の小学校にプレゼントといった活動を行っています。

イオン（株）の緑化や環境保全活動はまだまだたくさんあります。そうした活動に携わってきた入江さんの言葉「こうした活動を行うことは特別なことではないのです」には、まっすぐに生きる、自然体の姿勢が感じられました。

緑化基金へご寄付ありがとうございました。

※寄付者総数35　※平成13年1月から6月まで。順不同、敬称は略させていただきました。

中村　圭
江澤　完誠
（株）赤門
市原造園（株）
植忠造園土木（株）
（有）卯田造園
（株）幹樹園
（株）加瀬造園
鎌ヶ谷造園土木（株）
加茂造園（株）
協同緑地（株）
（株）共楽園緑化土木
（株）グリーンアンドアーツ
三協グリーン（有）
信和造園土木（株）
総武造園土木（株）
（株）高橋造園
高山造園土木（株）
千葉砂防植産（株）
築山緑化建設（株）
（株）東城園
橋本屋造園（株）
林園緑地建設（株）
林造園土木（株）
フタバ緑化産業（株）
藤木園緑化土木（株）
富士造園土木（株）
（株）マスヤ
（株）ムサシ
（株）山田緑地建設
谷中造園土木（株）
（株）横芝緑化
（有）ワールド緑化
（社）倫理研究所千葉県倫理法人会
成田市造園緑化組合

秋季・緑の募金のお願い

■期 間：9月1日～10月31日
　　　（秋の紅葉シーズン）

緑の募金法に基づき、「秋季・緑の募金運動」を行います。春季・緑の募金同様、県民の皆様の深いご理解とご協力をお願いいたします。

お寄せいただいた募金は緑あふれ、潤いある環境づくりの推進などに役立てられ、その一部については世界的な環境保全のための緑化運動や森林の整備にも役立てられます。

企業・学校等職場単位での募金や、催しなどでの募金運動も推進しておりますので、ご協力、ご関心のある際は本委員会までご連絡ください。

森林浴の集い参加者募集

紅葉も楽しめる秋の森林浴を実施します。
下記のとおり参加者を募集します。

■日　　時　平成13年11月17日(土)
■場　　所　清和県民の森コース
　　　　　　(健脚向き：10km程度)
　　　　　　※バスで出発・解散とも千葉駅付近になります
■募集人数　45名
■参 加 費　大人、子供とも一人1,000円(傷害保険料・バス代含む)
■申 込 み　本委員会へ11月7日までに電話でお申し込み下さい。
　　　　　　ただし、先着順で定員に達し次第締め切りとします。

第54回全国植樹祭
開催テーマ・シンボルマークの発表

平成15年春・千葉県において開催される全国植樹祭の開催テーマ及びシンボルマークを公募したところ多数の応募があり審査の結果下記のとおり決定されました。今後、植樹祭の広報資料等に幅広く活用します。

■開催テーマ
「広げよう　緑の大地　豊かな心」
荘司　和彦さん(千葉県成田市)
■シンボルマーク
五十嵐　恵美さん（千葉県本埜村）
■問い合わせ　県庁みどり推進課
TEL.043-223-3682

花と緑のフェスティバル2001in幕張の開催

「まちに緑を窓辺に花を」をテーマに、花と緑のフェスティバル2001が、花壇コンクール、緑を楽しむ各種講座、花・植木市、工作教室、ステージイベント、キャラクターショウなど内容盛りだくさんで開催されます。

■日　　時　平成13年11月3日(土・文化の日)
■場　　所　千葉市美浜区ひび野
　　　　　　「県立幕張海浜公園」大芝生広場
■問合わせ　（財）千葉県まちづくり公社
　　　　　　TEL043-224-9794

※当委員会テントでは「クイズに答えて苗木プレゼント」や「どんぐり工作」「パネル展示」を行う予定です。

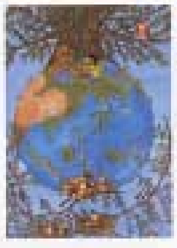
●季節の花●フヨウ（芙蓉）

写真提供／吉野儀氏

アオイ科の落葉低木で、朝夕に秋の気配を感じる頃になると薄紅をさしたような大きな花を咲かせる。芙蓉の顔（かんばせ）といわれるように、しとやかな佳人を思わせる繊細な美しさを持つ花である。花の大きさは径10～13cmもあるが、一日花なのでしだいに色が濃くなり夕方にはしぼんでしまう。日本、中国で自生するが、中国でフヨウといえば元来ハスをさし、フヨウには「木芙蓉」の字をあてる。花言葉はしとやかな恋人、繊細な美しさ。

指輪の手つめたき朝の白芙蓉　（田中江）

表紙の絵



表紙の作品は平成12年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、小学校高学年の部で千葉県知事賞を受賞した、流山市立西深井小学校6学年(現・中1)・佐野友紀さんの作品です。

グリーンえっせんす　第19号
2001年10月1日発行
発行／(社)千葉県緑化推進委員会
〒299-0265　袖ケ浦市長浦拓2号580-148
TEL.0438-60-1521　FAX.0438-60-1522
印刷／凸版印刷(株)　TEL.043-245-7071

この広報誌は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。